

## 訪日インバウンドNews

2018年訪日外客数（推計値）3,119万2千人（前年比8.7%増）

2018年12月の訪日外客数は、前年同月比4.4%増の263万2千人と過去最高となりました。市場別では、12月が訪日ハイシーズンとなる**シンガポール、マレーシアが単月として過去最高**を記録しました。英国・イタリアを除く重点市場18市場において、12月として過去最高となりました。

2018年1月-12月の年間訪日外客数は、**初めて3,000万人を突破し過去最高**となりました。2018年は、7月の西日本豪雨や9月の台風といった自然災害による影響がありましたが、大きく影響していた東アジア市場においても、年末までに前年同月を上回る回復を見せました。東南アジア市場、欧米豪市場においては、年間を通じて好調に推移しました。市場別では、**中国が838万人と、全市場で初めて800万人に到達**したほか、**タイが113万人と東南アジア市場で初めての100万人を突破**しました。**香港を除く19市場で過去最高**となりました。

### <トピックス>

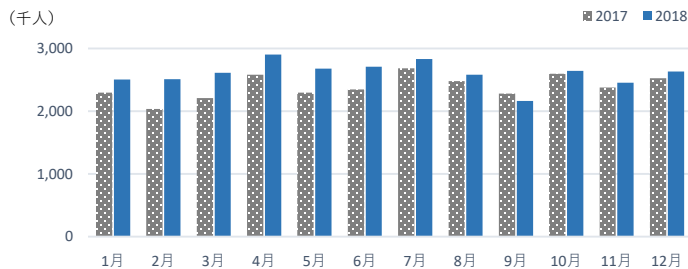
#### ○アジア

- ・格航航空公司（LCC）の新規就航等に伴う座席供給量の拡大による訪日旅行需要の増加
- ・リピーターの地方都市への拡散化
- ・中国の個人旅行（FIT）市場の拡大による800万人台到達
- ・タイ市場100万人突破、フィリピンがタイに続く東南アジア市場第2位の訪日外客数に大きく成長

#### ○欧米豪

- ・自国経済の好調や景気回復を背景に外国旅行を含めた消費意欲を喚起する中、訪日プロモーションが訪日旅行機運の醸成を後押しし、堅調に推移
- ・経由便の供給量拡大に伴い**イタリア・スペイン市場**、2017年の**ビザ発給緩和に伴う訪日旅行の価格低下によるロシア市場が好調**

### ★2017-2018 訪日外客数推移



訪日外客数ベスト5			伸び率ベスト5（訪日数順位）		
1位	中国	838.0万人	1位	ベトナム	26.0%（12）
2位	韓国	753.9万人	2位	ロシア	22.7%（20）
3位	台湾	475.7万人	3位	イタリア	19.2%（18）
4位	香港	220.8万人	4位	スペイン	19.1%（19）
5位	米国	152.7万人	5位	フィリピン	18.8%（8）

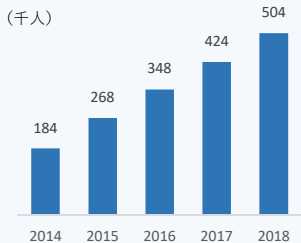
出典：日本政府観光局（JNTO）

## フィリピン市場について —ASEAN唯一のキリスト教国—

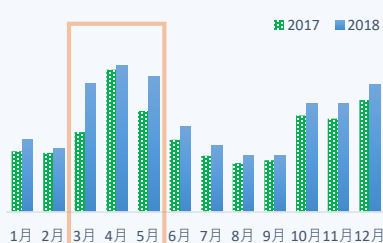
### <基礎データ>

- 面積：30万km<sup>2</sup>（日本の79%強）
- 人口：10,531万人（2017）
- インターネット普及率：55.5%（2016）
- 訪日外客数：504,000人（2018年推計値）

### ★ 訪日フィリピン人訪問者数

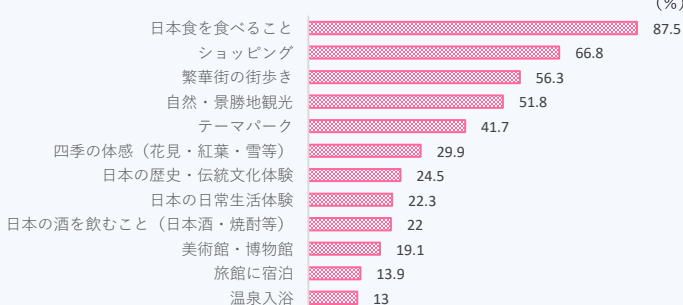


### ★ 2018 訪日フィリピン人 月別推移



出典：日本政府観光局（JNTO）

### ★ 訪日前に期待していたこと



出典：観光庁（2017訪日外国人消費動向調査）

フィリピンの経済情勢は、2017年実質経済成長率6.7%と高成長を維持しており、人口1億人以上、合計特殊出生率3.0人、国民の年齢の中央値が23歳と豊富な労働生産人口が今後も経済成長の原動力となります。貧富の差は著しいですが、富裕層や経済的にゆとりのある層において、この経済成長を背景に外国旅行が注目を集めています。**人気の渡航先は、シンガポール（69.1万人）、香港（67.6万人）、韓国（55.7万人）、日本（34.8万人）**で、この渡航者には出稼ぎ労働者も含まれています（2016年調査）。

マニラ首都圏など都会に住む人は、暑さや街の喧騒から逃れ、美しい自然を求め外国旅行をします。**日本の「春の桜」や「秋の紅葉」は季節特有の美しさを味わえる大きな魅力**となっています。フィリピン人は仕事よりも家族を優先させる傾向が強く、大家族や仲の良い親族と一緒に、美味しい食事や名所見物などの思い出作りをすることが、幸せを感じる貴重な体験となっています。**人気の旅行時期は、学校の夏休み（4月上旬～6月上旬）とイースター休暇が重なる4月とクリスマス休暇**です。そのほか**10月下旬～11月上旬の学期間休みも旅行が多い時期**となっています。

訪日旅行は、2013年のオープンスカイ協定締結以降、格航航空公司（LCC）含む航空路線が拡大傾向（2017年冬期：航空会社8社、週171便が運航）となっていること、また同年7月に短期滞在数次ビザ発給の開始、2014年のビザ発給要件緩和などにより、富裕層だけではなく中間層まで、旅行先として浸透しつつあります。訪問地としては、**東京と大阪間が主流**ですが、**憧れの雪を見るために北海道も人気**となっています。またリピーターの増加やLCCの就航により、中部や九州への需要も拡大しています。

出典：日本政府観光局（JNTO）

## 農家に泊まり、農家を体験！

兵庫県初！海外からの農泊 但東で中国からの教育旅行を受け入れ

1月24日-25日 教育旅行として、中国・深圳（しんせん）市から、児童・生徒20名＋教職員2名が豊岡市但東町に滞在されました！

但東振興局で対面式を行った後、民家6軒に分かれて宿泊し、家庭料理などを通じて農村の生活を体験していただきました。海外からの「農泊」は兵庫県内初の取り組みです。また2日目には、地元の資母小学校のこども達との国際交流を楽しんでもらいました。

今回の農泊は、TTIが働きかけ、但東シルクロード観光協会、但東振興局職員と一緒に、兵庫県国際交流協会を訪問し、これまでの国内教育旅行の受入実績やインバウンドに対する熱い想いを伝えるといった活動が結実しました。今後も海外からの農泊受け入れを数多く実現できるように、地元の方々と協力して活動していきたいと思えます。

1月21日にも、中国からファミリーグループ10名が但東の農家民宿に滞在されるなど、今後に向けて大いに期待が高まっています。

\*「農泊」とは、農山漁村において日本ならではの伝統的な生活体験と農村地域の人々との交流を楽しみ、農家民宿、古民家を活用した宿泊施設など、多様な宿泊手段により旅行者にその土地の魅力を味わってもらう「農山漁村滞在型旅行」です。



## 豊岡市の取り組みを情報発信

沖縄県からの視察団、豊岡に訪問

沖縄県から約30名の視察団が、豊岡の様々な取り組みを学ぶため、3日間（1/17-19）滞在されました。この視察団のメンバーは、久米島、宮古島、八重山諸島、沖縄本島全土から「稼げる地域づくりの中核リーダー育成プログラム」研修に参加されている観光事業者、金融・IT・イベント関連事業者様と多岐にわたります。

視察プログラムは、豊岡市の取り組み（空き家対策、環境農業、コウノトリの野生復帰＆生息地保全、アーティストインレジデンス、観光インバウンド）に加え、城崎温泉のまちづくり、城崎・神鍋の観光事業者様の取り組みと盛り沢山となりました。研修の合間には、TTIが企画した「KOUNOTORI郷弁当」や地元の食も堪能していただきました。

今後もこのような視察の受け入れを通じて、豊岡市の取り組みを紹介し、豊岡のファンを増やしていく活動をしていきますので、みなさまのご協力よろしくお願いいたします。



## 地元素材にこだわった特別なお弁当はいかがですか？

OFF. Kinosaki ✕ Toyooka Tourism Innovation



← 沖縄視察時のお弁当

季節に応じた地元の野菜がたくさん！

豊岡観光イノベーションでは、コウノトリ米と地元産のオーガニック野菜をふんだんに使ったお弁当、「KOUNOTORI.SATO-BENTO」を城崎温泉のOFF. Kinosakiさんと企画し、販売しています。10個以上の注文から承ります。ぜひ、ご利用ください。

★ 販売価格：1,500円（税別）

★ お問い合わせ：豊岡観光イノベーション 21-9002

お知らせ：TTI会員・賛助会員募集中！！